



11月19日(土)・20日(日)

## 楽しいイベント盛りだくさん 岸本公民館きないや祭

「岸 本公民館きないや祭」が11月19日(土)・20日(日)に開催されました。

この祭りの歴史は長く、始まりは天保8年(今から約180年前)と言われ、当時は吉長地内で牛馬や農具、たばこなどの物資が取り引きされていました。昭和38年から文化的行事が加わり、現在は岸本公民館を中心に、飲食物の提供や趣味の展示などを行っています。

祭り2日目は、公民館前で無料のぜんざいがふるまわれたほか、保育園児・小学生や公民館教室の作品展示、フリーマーケット、絵本の読み聞かせ、太鼓の演奏などいろいろな催しが行われ、小さな子どもから大人まで、思い思いに祭りを楽しみました。



▲小学生の作品展示(岸小体育館)

11月20日(日)

## 入賞・入選24作品を表彰 植田正治写真美術館

フォトコンテスト表彰式

今

年で17回目となる「植田正治写真美術館フォトコンテスト」の表彰式が11月20日(日)、同美術館で行われ、入賞者に賞状と副賞が贈られました。

コンテストには、山陰地方で撮影した作品が多数寄せられ、一般の部441点、高校生以下の部188点の応募の中から、各部門で12点が入賞作品に選ばれました。

一般の部・大賞に選ばれたのは、米子市・岩崎瑞枝さんの「欲望の夏」。「欲望」という言葉から連想した風景を独特の構図で撮影した、モノクロ3枚組の作品です(12月号裏表紙に掲載)。また、高校生以下の部・大賞は、石原徳乃花さんの「目線」が受賞しました。

そのほか町内から8人が入賞し、受賞者たちは森安保町長から賞状と副賞を受け取りました。なお、受賞者の作品は、11月30日まで同館に展示されました。



▲一般の部・大賞に選ばれた岩崎瑞枝さん(写真右)



▲表彰式の様子

11月24日(木)

## 迅速な災害対応を目指して 伯耆町消防団非常呼集訓練

町

内で発生した災害に迅速に対応するため、伯耆町消防団が11月24日(木)、非常呼集訓練を行いました。

この訓練は、非常時を想定して、団員に実施日時や場所を事前に教えず、抜き打ちで行います。災害が起きた際に、団員が速やかに集合し、消火活動にあたることを目的に、毎年実施しています。

当日は、19時28分に伯耆町二部の「老人憩いの家」から出火し、さらに周辺2か所に燃え広がったという想定で、防災行政無線で団員が招集されました。知らせを受け、二部地区自衛消防団と伯耆町消防団員が約80人出動。団員らは、真っ暗な中、火点に向かってホースを手際よく延長し、的確に放水しました。



▲真っ暗な中、想定火点への的確に放水